

学校法人 青山学院
2010年度 事業計画書



学校法人 青山学院

(2010年3月25日 理事会承認)

< 学校法人青山学院 2010 年度事業計画書 補足事項 >

- 1 . 2009 年度までに実施が終了し、取り組みの成果が出た課題については、2010 年度は特に事業計画を策定せず、定例業務として見直しや改善を行いながら実施していくことが、学院より承認されています。そのため、複数の設置学校・事務部署に共通する課題について、設置学校・事務部署によっては、すでに定例業務に移行させているところもありますので、それらについては本事業計画書に学校名あるいは部署名および事業計画は掲載されていません。
- 2 . 2 P から 8 P に掲載されている事業計画内容について、法人執行部および本部事務部署にて行う計画のうち、「教育・研究・学術」に係る計画については【学院】、「経営・管理」に係る計画については【法人】と表記しています。

以上

1874(明治7)年に米国のメソジスト監督教会の信仰と祈りをもって派遣された宣教師たちにより始められた青山学院は、2009年に創立135周年を迎え、「キリスト教信仰にもとづく教育」という創立当初からの理念のもと、常により良い教育を目指してきた先達たちの努力によって、幼稚園から大学・大学院までを擁する日本有数の教育機関に成長いたしました。

現在の日本においては、学位の質保証、教育の国際化、産官学連携等々、社会からの教育への注目と要望は多岐にわたり、ますます高まるばかりでありながら、経済の低迷もあり、特に私立学校をめぐる経営環境は大変厳しい状況と言わざるを得ません。しかしながら、青山学院では、この様な時こそ好機ととらえ、21世紀に相応しい教育の充実・発展のため迅速な改革を推し進め、教職員一丸となって取り組みを進めています。

2008年に「理事長声明」と共に、キリスト教信仰にもとづく建学の精神のもと、「人間教育の再創造」「環境の整備」「戦略の強化」を三つの柱として提示した174項目の課題について、2009年度からは各設置学校・各事務部署がその重要性和緊急性に従って優先順位をつけて事業計画として取り組み、学院全体でその進捗と結果を確認し、改善と発展に繋げる体制を整えました。2010年度は、このPDCAサイクルに則った事業計画としての取り組みの2年目となります。2009年度の取り組みの継続発展に加え、新たな課題にも着手していきます。

2010年度事業計画書の中には、幼稚園から大学・大学院までの各設置学校および各事務部署が策定した事業計画の中から、下記に掲げた基本方針に合致するいくつかの計画について抜粋したものを掲載しておりますが、事業計画の全容については、巻末の「学校法人青山学院2010年度事業計画」一覧をご参照ください。

【2010年度 学校法人青山学院事業計画 基本方針】

- ・ 青山学院の教育の基本となるキリスト教について、学院に関わる一人ひとりの理解を深め、各設置学校が掲げる教育理念に基づいた教育の実現を図る
- ・ 青山学院の教育の柱を形作る国際理解教育(特に英語教育)と一貫教育を充実させる
- ・ 厳しい社会状況に直面する学生への支援を強化する
- ・ 教育環境を整備し、「キャンパスの安全・安心」に努める
- ・ 学院発展のため、組織・体制の強化を図る

・人間教育の再創造

1. キリスト教教育の促進

建学の精神の根幹を成すキリスト教教育促進のため、園児・児童・生徒・学生そして保護者、教職員がキリスト教に触れ、親しむ機会を増やしていけるよう取り組みを行っています。2010 年度事業計画としては、下記の取り組みを進めます。

【学院】

学院各部で行われている礼拝において、各部の礼拝奨励者、聖歌隊、ハンドベルクワイヤの交流を進め、各部のクリスチャン教師を中心とした礼拝交流を行うほか、職員を対象とした各キャンパス週一回の聖書研究会開催により聖書に親しむ機会を持つとともに、新学年度礼拝等への積極的な参加を呼びかけます。

【大学】

キリスト教学校へ教員として就任する者のための教育プログラム(スーパープログラム)について、さらにカリキュラムを充実させ、キリスト教精神にもとづいた教育を担う人材を社会に輩出します。また、夕礼拝(第二部礼拝)を中心に、学生の関心が高いワーシップソング、ゴスペルソングをはじめとした現代的礼拝音楽(讃美)による礼拝を行います。

【高等部】

校舎建替えにより礼拝所である PS 講堂も使用できなくなるため、生徒の安全な動線を確保しつつ青学講堂の代替使用を視野に、礼拝の継続的実施体制を検討していきます。

【初等部】

保護者を対象に「聖書に親しむ会」(月 1 回)と「キリスト教文化講座」(各学期 1 回)を開催し、保護者のキリスト教教育と初等部の教育理念に関する理解を深め、初等部の教育の実践に努めます。

【幼稚園】

教員を対象に宗教主任による園児の聖書への理解を深めるための講習を学期毎に行い、保育にあたる教員の意識の向上と共有化に努めます。

2. 教育力の向上

青山学院が目指すキリスト教を基盤とした教育と、社会・時代の要請に応えていける教育力を各学校が充実・堅持していくために、下記の具体的取り組みを計画しています。

【大学】

- ・ 2012 年度からの 4 年一貫教育の実施に合わせて、全学共通教育としての青山スタンダード教育の改革案を策定するとともに、各学部の 4 年一貫教育に適合した専門教育カリキュラムの充実を図ります。
- ・ 学内の優れた教育プログラム、教育改善の試みを支援する制度の拡充によってカリキュラムの改善を支援するとともに、さらに学外からの資金獲得につなげるための支援体制を検討します。
- ・ 相模原キャンパスの環境と充実した設備を活用するために、2012 年度を目指して既存学部の整備を進めるとともに、新設学部、中高一貫教育との接続などを視野に入れた構想を検討していきます。

【短大】

- ・ 2012 年度新設学科開設に向け、学生の質の向上のためのポートフォリオの活用なども含め準備を行います。
- ・ 教育力の向上に向けて引き続きFD・SDの検討と推進を行います。

【高等部】

- ・ 教科毎の教育目標を設定し、その達成度についての項目も含めた授業評価アンケートを毎年実施しています。2009 年度のアンケート結果についても各教科で分析と評価を行い 2010 年度の授業等に活用していきませんが、こうした現状把握と改善サイクル実施の積み重ねを、教育の充実に繋げています。
- ・ 2013 年度とされる高等学校新学習指導要領の実施に向け、カリキュラム原案の作成、教科教育目標の見直しの検討を行うほか、五日制・六日制問題の結論を急ぎ、必要に応じた対応を行います。
- ・ 教育力の向上には教員の意識の向上が不可欠であり、新任教員研修を充実させます。

【中等部】

- ・ 高中部の教育理念でもある「ひとりひとりの生徒の人格を育み、その自己実現を支える」ため、また授業の充実を図るための一つの方法として、中等部では少人数教育を実施します。2011 年度からの 32 名 8 学級体制導入に向け、2010 年度は準備と対応を行います。

【初等部】

- ・ 初等部の特色ある教育の一つに、「体験から得た感動が子どもたちを成長させる」という理念に基づいた、学年ごとに行う宿泊行事があります。長年行ってきた各宿泊行事について、教育的ねらいとその効果等について見直しを行い、更なる改善を図ります。

3. 一貫教育の充実

青山キャンパスに幼稚園から大学・大学院までを擁する特性を最大限に活かし、青山でしか実現できない一貫教育の充実に向け、下記の取り組みを推進します。

1) 青山学院チャットルームの参加者拡大

【大学・短大・高等部・中等部・初等部】

2008 年 4 月より、全学院の規模の青山学院の特色である「英語」を媒介とした国際コミュニケーションの実現に向けて、「青山学院チャットルーム」を開室しました。

海外の大学協定校から受け入れの交換留学生をチャットリーダーとする、本学の初等部、中等部、高等部、女子短期大学、大学および大学院の在校生が一堂に集い、外国語によるコミュニケーションを通じて、語学習得だけでなく異文化理解と国際交流意識と活動の活性化を目指しています。2010 年度は、英語セッションへの参加者拡大のために各設置学校の英語の授業における呼びかけに加え、中国語や韓国語のセッション、また教職員も参加可能なセッションにも試行的に取り組み、更なる利用者の拡大を目指します。

2) 「一緒に遊ぼう会」の充実

【初等部・幼稚園】

一貫教育の流れの中で、初等部 1、2 年生と幼稚園の園児との交流の時を年に 2 回持っています。幼稚園からは年長児が初等部に出かけ、初等部からは 20 名ほどの 1、2 年生の児童が 1 日、年中組、年少組の子どもたちと遊び、お弁当を食べたりしながら幼稚園の生活を味わいます。幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のため、また、初等部・幼稚園それぞれの子どもたちが同じ「青山学院の子ども」として親しく交わり、豊かに育ち合うための大切なこの会を、ねらいを鮮明にし、内容を精査することで、より充実させたものとします。

3) 4 - 4 - 4制英語一貫教育の実践

【高等部・中等部・初等部】

2008年度より、青山学院では初等部から高等部の12年を4年毎3期に分けた英語教育を実践しています。この実施にともない、初等部では1年生から週2回の英語の授業を行っているほか、中等部の英語教員が初等部の授業を行う等、「英語の青山」の特色をより一層明確にした質の高い授業が行われるようになり、初等部と中等部の連携の強化がされたほか、初等部児童が中等部に進学する際に「知っている先生がいる」「知っている生徒がくる」ことでの円滑な接続も可能となりました。2010年度は、初等部が2011年度に第1期4学年となる初等部4年生が使用するBOOK4を、中等部が第2期4学年となる中等部2年生が使用するBOOK8を作成するとともに、高等部が2012年度に第3期第1学年となる中等部3年生が使用するBOOK9の執筆を開始します。

4) 導入教育・接続教育の拡大

【大学・高等部】

高等部と大学では既に、高等部生を対象に、大学教員による授業を大学の教室で経験できる「学問入門講座」や e-Learning による英語自学自習の実施等の「接続教育」を実施していますが、2010年度は更に、一貫教育校である特色を強みとして生かすため、「大学の授業を高等部生が聴講できる制度の確立」を目指し、取り組んでいきます。

4. 大学院教育の充実と研究機能・社会連携の強化

教育・研究の活性化と充実をはかるため、研究学術等の推進と社会への還元を目指し、以下の取り組みを推進します。

【大学】

- ・ 大学院教育の充実として、研究者養成を担う大学院では、特に博士課程における教育・研究環境の整備を継続的に進めます。専門職大学院では、高度職業人養成の環境を充実させ、法務研究科においては、司法試験合格を目指す体制づくりに取り組みます。また、国内外の企業や教育・研究機関に院生を派遣し、その成果や経験を教育改革に反映させる取り組みを実施します。
- ・ 研究支援体制の強化として、学部・研究科ならびに各研究センター等における研究を戦略的に支援する事務組織体制を構築します。さらに外部資金獲得につなげられるように支援内容を充実させます。
- ・ 社会連携の強化として、青山キャンパスでは社会連携機構の研究センターを中心に、地域ならびに国際的連携事業を推進します。相模原キャンパスにおいては神奈川県および相模原・町田地域における学外の研究所や大学等との連携を強化し、多様な学習・研究の機会を提供して学習・研究機能の高度化を目指します。

【学院・大学】

- ・ 青山学院知的資産連携機構の活動強化として、文部科学省受託事業ならびに補助金を受け、最終年度となる2010年度は、従来の事例を基に学内の教育・研究事業から知的財産の構築や知的財産の活用、再検討ならびに事業開発までの手順を整理し、手引き(仮称)を作成の上、受託事業報告書に掲載します。この手引きは、今後本学院の知的資産の構築や活用などを行うにあたり大学の規模にあった無理の少ないマネジメントの参考となるよう最新の事例等を取り入れ、随時更新を加えながら維持継続していきます。

5. 国際交流の活性化

青山学院大学では、2009年にグローバル化推進プロジェクトチームが発足し、国際交流強化に向けた体制が整いつつあります。2010年度は、本学のグローバル化を促進するためのグランドデザインの作成とグローバル化の諸政策を策定し実施を目指します。

【大学】

- ・ 日本学生支援機構(JASSO)が行っている日本留学試験を2010年度から実施します。台湾(淡江大学)、韓国(慶南大学)に続いて、2010年度には上海、タイ、ドイツにも本学のリエゾン・オフィスを開設する計画です。また各地域で青山学院大学フェア等を開いて本学の海外留学生数を増やします。
- ・ 文部科学省の国際化拠点整備事業(グローバル30)に代わる新規事業(日中韓等の大学間交流を通じた高度職業人育成事業)に応募するなどして、本学のアジアにおけるネットワークを拡大します。

環境の整備

1. 青山キャンパスの再開発

「伝統と未来が出会う、緑と文化溢れる空間」「安全・安心な教育環境」「サステナブル(持続可能な)キャンパス運営体制」という3つの方針のもと、21世紀に相応しい魅力と特色のある総合学園を可能にするため、青山キャンパスの再開発事業を進めています。

1) 再開発グランドデザイン

【法人】

2012年度より開始する「教育課程の移行」に対応するための既存校舎の改築を優先しつつ、大学A棟移転が想定される部門の跡地活用計画を提案し、大学A棟の次の建築に続く建築計画の方向性と基本計画を策定します。

2) 大学A棟の建設

【大学】

2012年4月から人文・社会科学系学部の1、2年生の教育課程が青山キャンパスに移行するために、青山・相模原両キャンパスにおける施設・設備の運用計画を、事務組織の再編を含めて検討し策定します。とくに、青山キャンパスに建設中のA棟(仮称)、その他施設の利用計画を策定します。

3) 高等部校舎の建て替え

【高等部】

2008年5月から始まった高等部校舎建替工事も2010年3月で第一期工事が完了し、新たに完成した西棟には2010年4月からは、ホームルーム教室(一部除く)が入ります。続く第二期工事(2010年4月～2012年7月予定)では、4月から青山キャンパスで最古の校舎である北校舎(大正15年築)と東A校舎および生徒会館の解体工事が始まり、7月からは講堂・メディア棟、北棟の新築工事に入ります。引き続き生徒に対する教育への影響を最小限に抑えつつ、適正な教育環境の確保・維持に努めます。

2. 学生への支援

青山学院では、昨今の社会・経済状況に対応し、学生が安心して学業に励み、将来を考えることができる環境を整備するために、下記の計画を中心に学生支援を続けていきます。

1) 奨学金の拡充

【学院】

現在実施している「青山学院スカラーシップ(寄付による奨学金制度)」の充実のため、各部の広報誌等媒体、入学式や卒業式等で寄付をお願いしていくほか、アンケートにより収集した受給者の声の公開や、自分の寄付がどのような学生に奨学金として受給されたかを寄付者へ直接資料として提供することで、寄付の促しや継続の強化を目指します。

【短大】

改組を見据え、将来の女子短期大学の方向性に沿った奨学金制度を創設すべく準備を進めます。2012年度からの実施を目指し、2010年度は、国際交流委員会において、姉妹校に編入留学する本学学生の奨学金と、本学に受け入れた私費留学生を支援するための奨学金の創設準備を行います。

2) 進路・就職支援

【大学】

青山スタンダード教育機構においてキャリアデザイン講座を開設し、1,2年生の進路選択を支援します。この取り組みを含めて低学年次からのキャリア教育を充実させ、高学年までの連続性のある進路・就職支援体制を充実します。また、卒業生による模擬面接、パネルトークなどを行い、多方面で活躍している卒業生とのネットワークを拡大し、卒業生の就職指導へのアドバイスの機会を増やして、就職支援体制を強化していきます。

【短大】

2010年度からキャリアデザインに関する科目「キャリアデザイン」(前期)と「キャリアデザイン」(後期)を授業科目として配置し、また2009年度に初めて実施した企業インターンシップの発展形として、女子短期大学生を対象とした企業インターンシップを夏期休暇期間に3パターンに分けて行う等、卒業後の進路についての意識強化を図り、就職への支援を行います。

戦略の強化

1. 危機管理

複雑化する社会のしくみから大切な情報を守り、また園児・児童・生徒・学生と教職員の安全を確保するため様々な取り組み・対応を行う中、2010年度は下記の取り組みを推進します。

1) 情報セキュリティの強化

【学院】

青山学院では個人情報取り扱い等について「学校法人青山学院情報セキュリティに関する規則」を定め、さらなるコンプライアンス体制の確立と周知・実行・チェックを目指しています。2010年度は、本規則に対する教職員の正しい理解と遵守の強化を目的とした研修会・講習会を実施します。

2) 安全確保

【短大】

教職員を対象に、学生部主催の上級救命講習会への積極的参加を呼びかけています。出席者の中には「上級救命技能認定証」の取得者も複数おり、今後も講習会への参加を通し、教職員の意識の向上を図ります。

【幼稚園】

保護者会で個人情報の保護や登降園時の交通ルール、災害時の連絡手段の確認を行うと共に、危機管理意識の強化を目的としたガイドブックを「2010 年度保護者の手引き」の中に掲載することで、保護者の危機管理意識の強化を促します。

2. 公開講座の充実

【大学】

これまでの無料の公開講座を渋谷区や相模原・座間市の市民大学として数講座開設するとともに、2009 年度からスタートした「青学オープンカレッジ」(有料)を発展させ、2010 年度は、近隣の美術館やジャズハウスとの地域連携を進め、英語講座を開設するほか、相模原キャンパスにも「青学オープンカレッジ」を開校する計画です。

3. 青山学院アスタジオ運用の充実

【学院】

2009 年 9 月、文化の創造、発信の基地として、大学の教育寮「常青寮」の跡地に誕生した「青山学院アスタジオ」は、地上 4 階・地下 1 階の建物で、3・4 階には貸し事務所、2 階には大学総合文化政策学部の青山コミュニティラボ、1 階には NHK のサテライトスタジオ「NHK@キャンパス」が入り、「文化の創造と発信」両方の機能を発揮する地域のクリエイティブ・コアを目指しています。2010 年度は運用面での整備を行い、ノウハウや情報を青山学院全体の施設運営に拡大することを目指します。

4. 愛校心の育成

【学院】

青山学院と青山学院校友会共同発行の卒業生向け絆情報誌「青学チャイムズ」(年1回発行)に代わり、新たな卒業生向け情報紙として「あなたと青山学院」(年4回発行予定)を創刊、全校友に対して今まで以上に青山学院と校友会のタイムリーな情報発信を行います。

また、学校単位の校友組織で管理されている校友のデータベースを一元化し、総合的に管理できる体制整備を進めています。

【短大】

青山学院女子短期大学創立 60 周年を記念して、2010 年秋に記念礼拝、記念講演会、記念式典等の行事開催を予定しています。学生、教職員、校友が一体となって参加することで、青山学院女子短期大学の歴史や伝統、社会的貢献を再確認し、意識の共有化と愛校心の醸成を図ります。

5. 組織・体制の強化

135年にわたり多くの先人が築いてきた学院の伝統を守りつつ、学校を取り巻く環境の変化に対応し、新たな時代を生き抜いていくために、学院はさまざまな面において体制の強化・整備に取り組んでいきます。

1) 広報体制の強化

【学院・大学】

2009年11月より学院の広報体制を一元化するため、本部広報室と大学広報入試センター広報課を再編し、新たに広報部を設置しました。2010年度は、ブランディングの構築、情報の一元化、ニュースリリースの充実、効果的な広告の実施、ウェブサイト・紙媒体の広報の充実、マスコミとの交流の推進などを視野に入れた学院広報戦略を策定し、それに基づいた広報強化策を実施していきます。

2) 新募金体制の発足

【学院】

「青山学院 EVERGREEN 21 募金」は 2009 年 12 月末をもって終了しましたが、これまで寄せられた諸意見を参考に検討した結果、2010 年 4 月 1 日より「青山学院 エバーグリーン募金」の名称の下に、各募金の窓口を募金事務局に一本化するとともに、募金を 維持協力会 奨学金募金 イベント募金に大別し、新募金制度として発足することとなりました。既に 2010 年 1 月より「青山学院スカラーシップ(寄付による給付奨学金制度)」を継続するため、奨学金の給付に支障がないよう「青山学院奨学金募金」のみ募集を開始しています。今後は、維持協力会の組織・制度の見直し、イベント募金の対象事業についても順次検討し対応します。

3) 課題推進体制の強化

【学院】

2009 年 11 月、本部総合企画部に「事業推進調整プロジェクト」を設置しました。「学院の掲げる目標」に基づく課題推進のため、関連部局との連携・調整、学外の情報収集及び調査・分析等の機能を果たすことにより、計画立案・実行の支援を行います。

4) 情報系の整備

【学院・大学】

2009 年度に引き続き、最新技術とソフトウェアの導入による教育・研究環境の高度化と充実を図り、学外から学内ファイルサーバーへの WebDAV によるアクセスや、メールの ASP サービスの機能強化と改善により、24 時間 365 日ノンストップサービスを実現します。

また、情報系組織の再編については、学長諮問機関として大学に発足した「情報関連組織改組プロジェクト」を中心に、学院全体の情報部門の役割分担、予算計画、関連部署との連携方法、関連規則等を調整の上、実施していきます。

学校法人青山学院2010年度事業計画

グレー部分 1～16: 課題設定時(2008年4月)にとり上げられた最優先課題

命題 数字	青山学院 が探求す べき命題	課題 数字	命題を構 成する柱 となる課 題	大項目 数字	長期計画 (大項目)	中項 目数字	中期計画 (中項目)	事業 計画 数字	2010年度事業計画	該当部署
人間 教育 の再 創造	[]	キリスト 教教育 の促進	キリスト 教への 理解の拡大	1	キリスト教への 理解の拡大	(1)	スーパープログラム(キリスト 教教育も可能な初等教育及 び中等教育教員の育成)の 実施	宗教センター主催で実施されている「キリスト 教学校教師養成プログラム」のカリキュラムの 充実	大学	
							キリスト教学校の教師を目指す学生に対する 養成プログラムの充実	宗教センター		
						(2)	礼拝等宗教活動の推進	青学講堂における定期的な礼拝の可能性に つき検討	高等部	
								保護者向けキリスト教教育活動のさらなる実 施	初等部	
								幼児と礼拝についての研修の継続	幼稚園	
								礼拝における各部間交流	宗教センター	
								現代的礼拝音楽(讃美)の大学礼拝への部分 的導入	宗教センター	
								教職員向け聖書研究会の実施	宗教センター	
		教育・研 究の活 性化と充 実	高等教育の充 実	(1)	大学新設学部発足・学科増 設・改組等学部・学科の改革 による学部教育強化	文学部における学科新設計画等の推進	大学			
					相模原キャンパスにおける新学部構想の検討	大学				
				(2)	キャンパス・コンセプトに合わ せた教育課程再配置	人文社会科学系学部を2012年度より青山キャン パスに移す準備～実施の具体策検討	大学			
				(3)	大学院教育の充実	1 法科大学院の司法試験合格者増の実現	大学			
				(4)	教養教育の強化	2 青山スタンダードの改善	大学			
				(5)	専門教育の強化	専門教育の特色と学生のニーズに適した教育 プログラムの開発	大学			
				(6)	教育力の向上	大学の入口(入試)、内容(カリキュラム)、出 口(学位)についてのポリシーの明確化	大学			
				(7)	リベラルアーツ教育の実践	教育課程の移行に伴う青山スタンダード教育 の検討	大学			
(8)	3 短大改組	2012年度開設予定の新学科の準備	短大							
2	幼稚園・初等・ 中等教育の充 実	(1)	教育力の向上	授業評価のより有効な活用法の検討	高等部					
				教育課程変更に伴う教科教育目標の見直し	高等部					
				新任教員研修の拡充・実施	高等部					
				32名8学級体制への準備	中等部					
				初等部、宿泊行事の見直し	初等部					

学校法人青山学院2010年度事業計画

グレー部分 1～16:課題設定時(2008年4月)にとり上げられた最優先課題

命題 数字	青山学院 が探求す べき命題	課題 数字	命題を構 成する柱 となる課 題	大項目 数字	長期計画 (大項目)	中項 目数字	中期計画 (中項目)	事業 計画 数字	2010年度事業計画	該当部署	
人間 教育の再 創造	[]	教育・研 究の活 性化と充 実		2	幼稚園・初等・ 中等教育の充 実	(2)	より良い保育の実現		保育の検証化の推進	幼稚園	
				3	FD・SDの推進	4 教職員の意識改革		現在、実施している講演会・セミナーの充実および強化策の策定	人事部		
								現在、実施している職員のスキルアップ研修の充実および強化策の策定	人事部		
								保育の実践に関する園内研修の実施	幼稚園		
					(2)	自己点検・評価活動の推進		自己点検・評価活動の意識強化を図り、改善を心がける	大学		
					(3)	FDへの組織的な取り組み		全学的な組織検討	短大		
				4	研究学術等の 推進と社会への 還元	(1)	学内起業の支援		起業支援職員育成及び啓発活動	総合企画部	
							(2)	知的資産連携機構活動の強化		知的資産基盤整備プロジェクトの推進	総合企画部
							(3)	研究体制の強化		関係事務組織による戦略的な研究推進・支援体制の構築	大学
										相模原キャンパスと神奈川県及び相模原・町田地域における学外の研究所・大学等との連携強化	大学
	5	教育研究への 情報通信技術 の活用	(1)	情報通信システムの整備と 安全な運用および情報管理・ 運用システム機能の強化		最適な最新技術とソフトウェアの導入による教育・研究環境の高度化と充実	次期ICT戦略策定委員会				
						教育・研究環境の高度化と充実を図るための情報系組織の再編	次期ICT戦略策定委員会				
	[]	一貫教 育の推 進			1	付属校の設立と 提携校の設定	(1)	5 提携校の設定		キリスト教系学校(横須賀学院等)との提携	大学
					2	一貫教育の充 実	(1)	4-4-4制英語一貫教育の実 践		BOOK9の執筆	高等部
										2011年度導入分の教科書を作成する	中等部
										2011年度導入分の教科書を作成する	初等部
					(2)	異年齢学習・研究機会の充 実		青山チャットルームの展開	大学		
								青山チャットルームの展開(2009年度の調査結果を踏まえての有効活用)	高等部		
								青山チャットルーム参加者数の拡大を図る	中等部		
					(3)	上級学校の生徒との交流強 化		「一緒に遊ぼう会」の内容のさらなる充実化	幼稚園		

学校法人青山学院2010年度事業計画

グレー部分 1～16: 課題設定時(2008年4月)にとり上げられた最優先課題

命題 数字	青山学院 が探求す べき命題	課題 数字	命題を構 成する柱 となる課 題	大項目 数字	長期計画 (大項目)	中項 目数字	中期計画 (中項目)	事業 計画 数字	2010年度事業計画	該当部署							
[]	人間教育の再創造	[]	一貫教育の推進	3	各設置学校間の連携強化	(1)	大学と女子短期大学との連携強化		編入受け入れを含めた高等教育の充実	大学							
									青山学院大学への推薦入試枠の拡大	短大							
									四年制新学部への推薦入試制度の構築	短大							
						(2)	高大の連携強化		導入教育・接続教育の拡大	高等部							
								(3)	幼初中高の連携強化		各設置学校出身生徒の進級・進学状況を調査する	中等部					
											幼・初教師間の研修の充実化	幼稚園					
		[]	国際理解教育の推進	1	6 国際交流の強化		(1)	外国の大学との交流		マクレイプログラムの実施(アジアの大学対象)	大学						
									(2)	留学生の受け入れ制度の見直し		外国語教育の充実および日本語教育の強化や英語講義の増加等留学生に向けた教育プログラムの改革	大学				
												優秀な私費留学生確保のための奨学金創設	短大				
							(3)	国際交流の研究とそのための施設の充実		国際交流共同研究センターの活動強化	大学						
							[]	環境の整備	[]	キャンパスの整備	1	現存施設の整備	(1)	施設・設備の整備充実		耐震工事	中等部
																2009年度実施した耐震診断結果を踏まえ、より緊急性の高い案件についての補強工事を計画する	管理部
[]	キャンパスの整備	2	7 青山キャンパス再開発	(1)	再開発(ハード)グランドデザインと開発スケジュール及び資金計画の調整と決定				青山キャンパス全体の建物配置決定	法人執行部(総合企画部)							
						(2)			高等部の建て替え		第一期工事(2010年4月～2012年7月)北校舎・東校舎解体工事、講堂・メディア棟、北棟新築工事	高等部					
										(3)	大学A棟新築		円滑な運用を行うための検討	大学			
[]	歴史と伝統の継承	3	(1)	歴史資料の整備		資料センター所蔵資料の分類・整理			資料センター								
						学院130年史編集のために収集した資料の分類・整理			資料センター								
[]	学生等への支援	1	8 奨学金の整備と拡充	(1)	奨学金取扱事務の整備				万代奨学金回収業務の各部への委託および外部回収業者への委託検討および滞納者への督促強化	総務部							
									スカラーシップ制度を永続的に執行していくような新募金体制の整備	募金事業局							
				(2)	奨学金の拡充				「青山学院スカラーシップ」(寄付による奨学金制度)の充実	募金事業局							
							留学する学生のための奨学金の創設	短大									

学校法人青山学院2010年度事業計画

グレー部分 1～16:課題設定時(2008年4月)にとり上げられた最優先課題

命題 数字	青山学院 が探求す べき命題	課題 数字	命題を構 成する柱 となる課 題	大項目 数字	長期計画 (大項目)	中項 目数字	中期計画 (中項目)	事業 計画 数字	2010年度事業計画	該当部署		
	環境の 整備	[]	学生等 への支 援	2	9 進路・就職支援 の拡充	(1)	就職支援活動の強化		相模原での就職支援の改善	大学		
						(2)	校友会との連携強化		校友会との連携強化策の検討	大学		
				3	活動の支援	(1)	ボランティア活動とインターン シップの整備と支援プログラ ムの検討		就職関連インターンシップの整備	短大		
		[]	教職員 への支 援	1	活動の支援	(1)	表彰制度の確立		専任事務職員・専任現業職員の表彰制度の 確立		専任事務職員・専任現業職員の表彰制度の 検討	総務部 人事部
								(1)	本学安全衛生委員会の機能 強化		学内メンタルヘルス研修の充実と外部EAP サービスの具体的運用を実施する	人事部
				2	健康・心のサ ポート体制	(1)	本学安全衛生委員会の機能 強化		学内メンタルヘルス研修の充実と外部EAP サービスの具体的運用を実施する	人事部		
	戦略の 強化	[]	ガバナン スの強 化	1	意思決定の迅 速化	(1)	10 法人と各設置学校の連携強 化		法人執行部と短大執行部とのコミュニケーシ ョンの強化	短大		
						(2)	承認・決済等ルートの見直し		「承認・決済等ルートの見直し」の実施	法人執行部		
		2	危機管理と法令 遵守	(1)	コンプライアンス体制の確立 と周知・実行・チェック		個人情報に係る規則整備及び体制の確立		個人情報に係る規則整備及び体制の確立		総務部	
							不適正行為報告制度、苦情報告制度等の検 討		不適正行為報告制度、苦情報告制度等の検 討		総務部	
							ハラスメント制度の整備		ハラスメント制度の整備		人事部	
							情報セキュリティの教職員へのリスク意識の 徹底を図るため継続的に研修・講習会を行い コンプライアンスを含めた教育を検討する		情報セキュリティの教職員へのリスク意識の 徹底を図るため継続的に研修・講習会を行い コンプライアンスを含めた教育を検討する		人事部	
							11 情報セキュリティに関する規則の遵守の強化		11 情報セキュリティに関する規則の遵守の強化		総務部	
							11 情報セキュリティ管理体制整備と情報セキュ リティポリシーおよび運用手順の検証と定着の 推進		11 情報セキュリティ管理体制整備と情報セキュ リティポリシーおよび運用手順の検証と定着の 推進		大学	
							11 情報セキュリティ管理体制整備と情報セキュ リティポリシーおよび運用手順の検証と定着の 推進		11 情報セキュリティ管理体制整備と情報セキュ リティポリシーおよび運用手順の検証と定着の 推進		高等部	
							11 情報セキュリティ管理体制整備と情報セキュ リティポリシーおよび運用手順の検証と定着の 推進		11 情報セキュリティ管理体制整備と情報セキュ リティポリシーおよび運用手順の検証と定着の 推進		初等部	
			11 情報セキュリティ管理体制整備と情報セキュ リティポリシーおよび運用手順の検証と定着の 推進		11 情報セキュリティ管理体制整備と情報セキュ リティポリシーおよび運用手順の検証と定着の 推進		幼稚園					
		(2)	大災害対策		緊急連絡メール配信とテレドームの定着をは かる		緊急連絡メール配信とテレドームの定着をは かる		緊急連絡メール配信とテレドームの定着をは かる		高等部	
					災害発生時の行動についてのよりよいマニ ュアルへの整備、内容改訂		災害発生時の行動についてのよりよいマニ ュアルへの整備、内容改訂		災害発生時の行動についてのよりよいマニ ュアルへの整備、内容改訂		高等部	
					災害発生時の行動についてマニュアル見直し		災害発生時の行動についてマニュアル見直し		災害発生時の行動についてマニュアル見直し		中等部	
	災害発生時の行動についてのマニュアル作成				災害発生時の行動についてのマニュアル作成		災害発生時の行動についてのマニュアル作成		幼稚園			

学校法人青山学院2010年度事業計画

グレー部分 1～16: 課題設定時(2008年4月)にとり上げられた最優先課題

命題 数字	青山学院 が探求す べき命題	課題 数字	命題を構 成する柱 となる課 題	大項目 数字	長期計画 (大項目)	中項 目数字	中期計画 (中項目)	事業 計画 数字	2010年度事業計画	該当部署
戦略の強化	[]	ガバナンスの強化		2	危機管理と法令遵守	(3)	学生の学内外安全確保		「上級救命技能認定証」の取得	短大
							生徒の学内外安全確保		更なるセキュリティ対策の検討	高等部
							園児の学内外安全確保		保護者の危機管理の実践状況の検証	幼稚園
				(4)		社会的信用損失の防止と対応		執行部のリスクマネジメントのセミナー実施	広報部	
								危機管理ガイドラインの策定検討	総務部	
								総合企画部の強化	総合企画部	
		3	経営管理情報の充実	(1)	経営企画部門の要員強化		総合企画部と大学学長室との連携	総合企画部		
							総合企画部と大学学長室との連携	大学		
							開示すべき情報の検討	初等部		
		4	社会的責任の確立	(1)	情報の開示		情報の開示の基準及び方法に関する基本的ルールを確立する	広報部		
							学院内部に存在する情報の開示を積極的に推進するため、情報集約の仕組み(システム)を確立する	広報部		
						(2)	環境問題への対応	CO2削減の更なる推進	管理部	
	1			コスト改善・改革	(1)	省エネルギーの推進		省エネ機器等導入の検討	管理部	
		(2)	IVYCSの活用				IVYCS活用における業務契約の見直し	総合企画部		
	2	財源の確保	(1)	新規収益源テーマの検討		アスタジオの有効活用	法人執行部(総合企画部)			
					[]	広報の充実	1	12 広報の強化	(1)	広報体制の強化
		校友会や後援会との連携強化	高等部							
		校友会や後援会との連携強化	初等部							
		卒園生との連携(活動)実施状況の検証と次 年度への計画策定	幼稚園							
		校友会や後援会との連携強化	広報部							

学校法人青山学院2010年度事業計画

グレー部分 1～16: 課題設定時(2008年4月)にとり上げられた最優先課題

命題 数字	青山学院 が探求す べき命題	課題 数字	命題を構 成する柱 となる課 題	大項目 数字	長期計画 (大項目)	中項 目数字	中期計画 (中項目)	事業 計画 数字	2010年度事業計画	該当部署
戦略の強化	[]	12	広報の充実	1	12 広報の強化	(2)	PR戦略強化		広報の専門家招聘の検討と是非の決定	広報部
									広告を利用した広報の強化	広報部
									インフォメーションセンターの設置を検討	広報部
						(3)	マスコミ対策の充実		ニュースリリースの発信の増強および内容の充実	広報部
									マスコミとの懇談会を実施	広報部
									記者室の設置	広報部
						(4)	紙媒体広報の充実		紙媒体としての広報誌の見直し	広報部
									「青山学報」…販売を視野に入れた「青山学報」のデザインリニューアルの検討	広報部
						(5)	WEB広報の充実		初等部広報のあり方の検討と学院広報部との連携	初等部
									幼稚園広報としてよりふさわしい有効な内容の策定と運用	幼稚園
									学院・幼稚園～高等部ウェブサイトの一本化とリニューアル	広報部
									インナー広報のWEB化の検討	広報部
			ウェブサイトの動画配信の充実	広報部						
		(6)	その他の広報手段検討		広報体制・広報手段の確認・再検討	初等部				
					青山学院のブランド戦略の検討	広報部				
		[]	13 入試の強化	1	入試制度の改革	(1)	幼稚園・初等部の選考の方法見直し		入試実施処理方法の改善	幼稚園
				2	入試ミスの防止と対応の制度化	(1)	入試問題出題体制の整備		入試問題出題体制の整備の方策の検討	大学
						(2)	入試問題チェック体制の整備		入試問題のチェック体制の整備の方策の検討	大学
									中等部教諭による当日チェック体制の検討	高等部
				(3)	ミスがあった場合の責任体制の明確化		情報管理の徹底、教職員の意識の徹底により、ミスの発生を防止する体制の継続強化	幼稚園		
3	入試広報の強化	(1)	学校説明会の強化		学校説明会実施回数等の検討	中等部				

学校法人青山学院2010年度事業計画

グレー部分 1～16: 課題設定時(2008年4月)にとり上げられた最優先課題

命題 数字	青山学院 が探求す べき命題	課題 数字	命題を構 成する柱 となる課 題	大項目 数字	長期計画 (大項目)	中項 目数字	中期計画 (中項目)	事業 計画 数字	2010年度事業計画	該当部署					
戦略の強化	[]	14	生涯学習の充実	1	校友、社会人に対して必要とされる教育を提供する「知の基盤」としての教育体制確立	(1)	公開講座の充実		現在の公開講座のプログラムの見直し	大学					
						(2)	有料講座の充実		青学オープンカレッジの充実	大学					
		15	校友との連携強化・愛校心の育成	1	校友サービスの向上	1	校友組織の発展的活動のための校友データベースの整備	(1)			学校単位の校友組織で管理されているデータベースの総合的管理	次期ICT戦略策定委員会			
										モバイルを含むWEBを利用した情報提供ツールによる校友への情報発信の検討	次期ICT戦略策定委員会				
										会員制コミュニケーションサイトサービスも視野に入れた校友データベースの仕組みの検討	次期ICT戦略策定委員会				
				2	学院への協力体制確立	1	1	1	1	(1)			今後の募金管理体制の強化について検討	募金事業局	
												新募金制度の確立	募金事業局		
				3	愛校心の育成	1	1	1	1	(1)			創立60周年記念行事の開催	短大	
												クラブの試合への積極的な応援の呼びかけ	高等部		
												校友への愛校心の促進	校友に対する広報の充実	校友センター	
				3	愛校心の育成	1	1	1	1	(3)			青山学院維持協会の会員制組織・制度の見直しの検討	校友センター	
												青山学院維持協会の会員制組織・制度の見直しの検討	募金事業局		
				16	組織の整備・業務の見直し	1	既成組織の再編	1	1	1	1			進路・就職センターと進路グループの連携強化によるキャリア支援・キャリア教育の充実	大学
													2	新組織の確立	1
			青山・相模原両キャンパスにおける実態調査、基本構想策定、環境整備の検討			大学									
		3	人事制度の見直し			1	1	1	1	(1)			教員の任期制についての理念の明確化と導入の検討	人事部	
												教員の人事評価制度の根幹の検討	人事部		
										(2)		教員の採用の審査方法検討		青山学院大学卒の教員の採用拡大	高等部
			新専任採用ルールの評価			高等部									
			教員の採用・職員の採用の審査方法検討				職員採用方法の見直しと改善の検討	人事部							

学校法人青山学院2010年度事業計画

グレー部分 1～16:課題設定時(2008年4月)にとり上げられた最優先課題

命題 数字	青山学院 が探求す べき命題	課題 数字	命題を構 成する柱 となる課 題	大項目 数字	長期計画 (大項目)	中項 目数字	中期計画 (中項目)	事業 計画 数字	2010年度事業計画	該当部署
	戦略の強化	[]	組織の整備・業務の見直し	3	人事制度の見直し	(3)	適正人員と報酬体系の見直し		2012年0-4制移行を視野に人数の適正化を図る	人事部
									人件費総枠をふまえた報酬体系の見直し	人事部
							(4)	職員の能力開発制度の検討	職員の人材育成のための能力開発制度体系の充実	人事部
				4	16 情報系の整備	(1)	ポータルシステムの拡充と事務支援体制の効果による情報発信およびユーザーからのデータ蓄積と蓄積データの戦略的利用		情報教育・事務のスタンダードなサービス強化と「情報基盤センター(案)」の構築	次期ICT戦略策定委員会

地の塩、世の光

The Salt of the Earth , The Light of the World

【青山学院スクール・モットー】

学校法人青山学院 2010年度事業計画書 (2010年4月発行)

(問合せ先) 本部 総合企画部 03(3409)6384 内線 11338
